

2023年3月期決算 および 中期経営計画説明会

2023年5月16日
タカラバイオ株式会社

本日の内容

- **2023年3月期 通期連結業績**
- 2024年3月期 通期連結業績 予想
- 「中期経営計画2022」の振り返り
- 「中期経営計画2025」の概要

2023年3月期 通期連結業績：売上高 ①

	売上高	前期比	前回予想比 (2/9)
(百万円)			
試薬	65,925	+13,446 +25.6%	▲349 ▲0.5%
COVID	35,901	+10,262 +40.0%	▲188 ▲0.5%
一般研究用	30,024	+3,183 +11.9%	▲161 ▲0.5%

試薬：COVID関連試薬が大幅に伸長、一般研究用試薬も堅調に推移

(現地通貨ベース)	COVID	一般研究用	試薬全体
日本	▲	▲	▲
米国	▲	▲	▲
中国	▲	▲	▲
欧州	▲	▲	▲
全体	▲	▲	▲

②

(注：前期比に関する説明)



2023年3月期 通期連結業績：売上高 ②

	売上高	前期比	前回予想比 (2/9)
(百万円)			
機器	1,375	▲142 ▲9.4%	▲174 ▲11.3%
C D M O	8,200	▲3,226 ▲28.2%	▲42 ▲0.5%
再生医療等製	4,469	▲1,394 ▲23.8%	▲21 ▲0.5%
遺伝子解析/検査その他	3,732	▲1,832 ▲32.9%	▲21 ▲0.6%
遺伝子医療	2,640	+365 +16.1%	+8 +0.3%

機器：細胞解析装置が増収
PCR装置は減収

再生医療等製品関連受託：前年度のCOVIDワクチン関連受託が縮小し減収

遺伝子解析/検査関連受託：前年度の国主導の大型ゲノム解析プロジェクトが縮小し減収

遺伝子医療：RetroNectin®などのAM製品*が増収

③

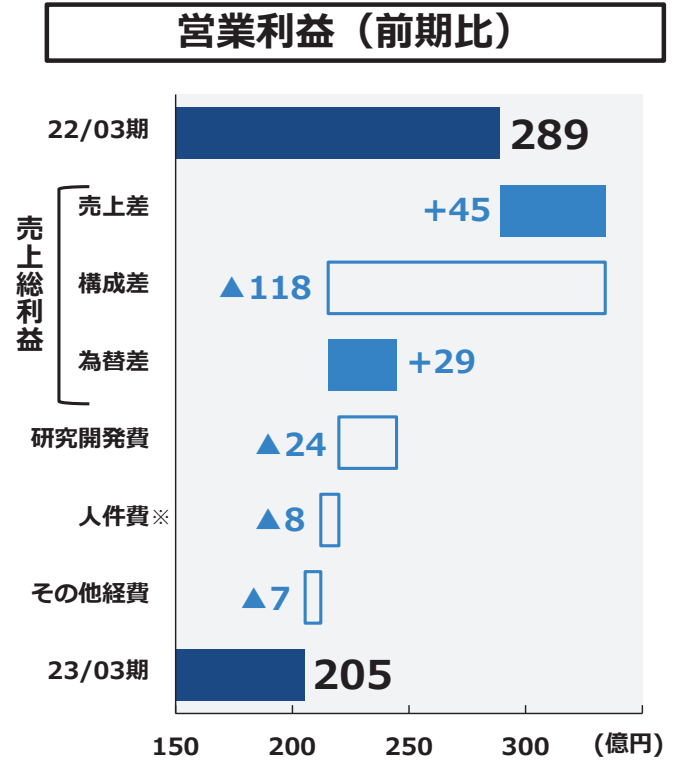
*Ancillary Materials：製造補助剤

(注：全て前期比に関する説明)



2023年3月期 通期連結業績

(百万円)	23/03期	前期比	前回予想比 (2/9)
売上高	78,142	+10,442 +15.4%	▲557 ▲0.7%
売上総利益	44,765	▲4,445 ▲9.0%	▲291 ▲0.6%
営業利益	20,541	▲8,360 ▲28.9%	+541 +2.7%
研究開発費	8,575	+2,466 +40.4%	▲78 ▲0.9%



4

※研究開発人件費を除く



本日の内容

- 2023年3月期 通期連結業績
- 2024年3月期 通期連結業績 予想
- 「中期経営計画2022」の振り返り
- 「中期経営計画2025」の概要

5



2024年3期 通期連結業績 予想：売上高

(百万円)	売上高	前期比
試薬	38,353	▲27,571 ▲41.8%
機器	2,019	+643 +46.8%
C D M O	9,914	+1,713 +20.9%
再生医療等品	4,646	+178 +4.0%
遺伝子解析/検査その他	5,173	+1,441 +38.6%
遺伝子医療	3,012	+372 +14.1%

試薬：一般研究用試薬の拡大に加え、BtoBカスタム製品の強化

機器：細胞解析装置および遺伝子増幅装置の拡大

CDMO：小規模試験製造から臨床用大規模製造、並びに研究開発用解析から信頼性保証下での臨床用解析まで、さらに品質試験も含めた開発ステージに合わせたOne-stop体制の強化

遺伝子医療：RetroNectin[®]に加え、AM製品の強化

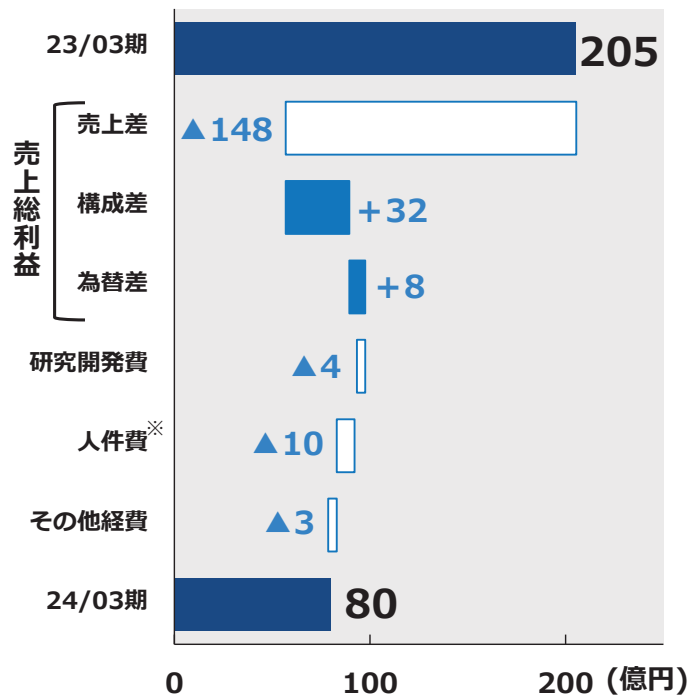
6

TaKaRa

2024年3月期 通期連結業績 予想

(百万円)	通期予想	前期比
売上高	53,300	▲24,842 ▲31.8%
売上総利益	33,984	▲10,780 ▲24.1%
営業利益	8,000	▲12,541 ▲61.1%
研究開発費	9,000	+424 +4.9%

営業利益



7

※研究開発人件費を除く

TaKaRa

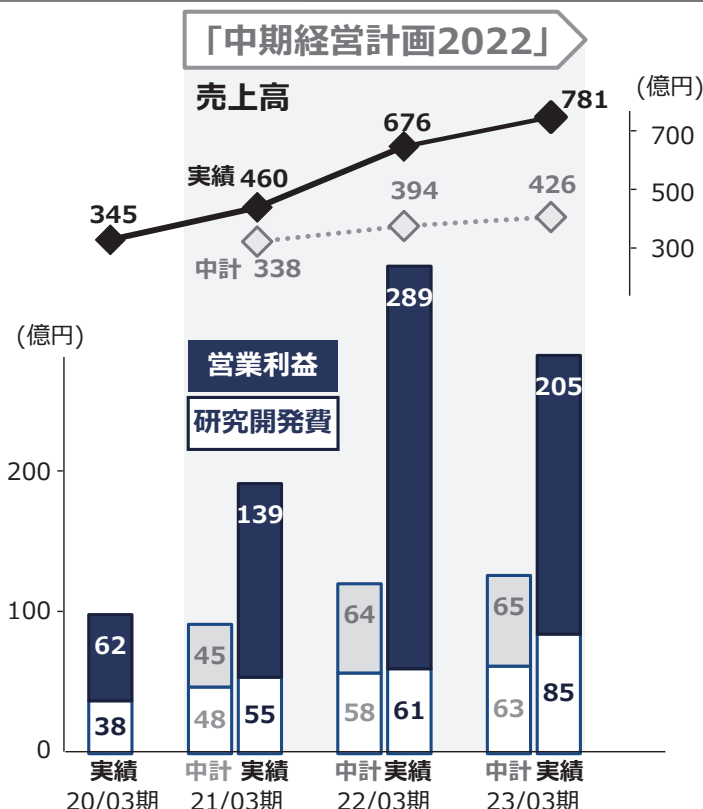
本日の内容

- 2023年3月期 通期連結業績
- 2024年3月期 通期連結業績 予想
- 「中期経営計画2022」の振り返り
- 「中期経営計画2025」の概要

8



「中期経営計画2022」は 業績定量目標を大幅に上回った



- COVID検査需要やワクチン関連プロジェクトなどへの迅速・集中的な対応により、業績は定量目標を大幅に上回り過去最高益を更新した

23/03期	目標	結果
営業利益	65億円	205億円
ROE	6%	15.4%

- 臨床開発プロジェクト外の提携解消、機器やCDMOの売上が計画未達となる等の課題を残した
- 上振れた収益を活用し、将来成長のための研究開発投資・設備投資・人的投資を強化した

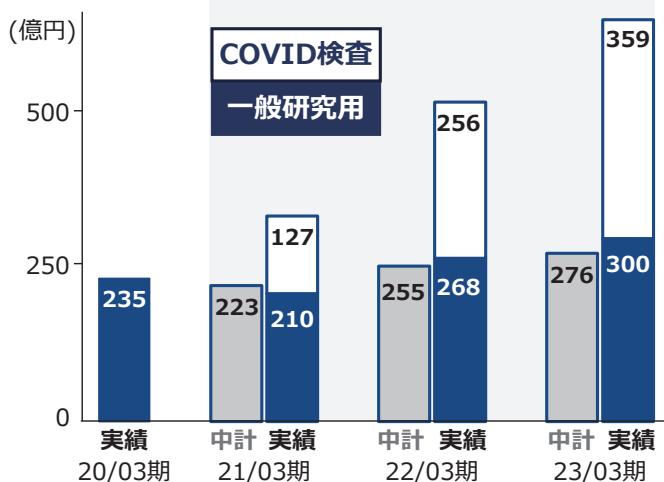
9



一般研究用試薬は、堅調に推移 機器は、細胞解析装置に課題を残した

試薬

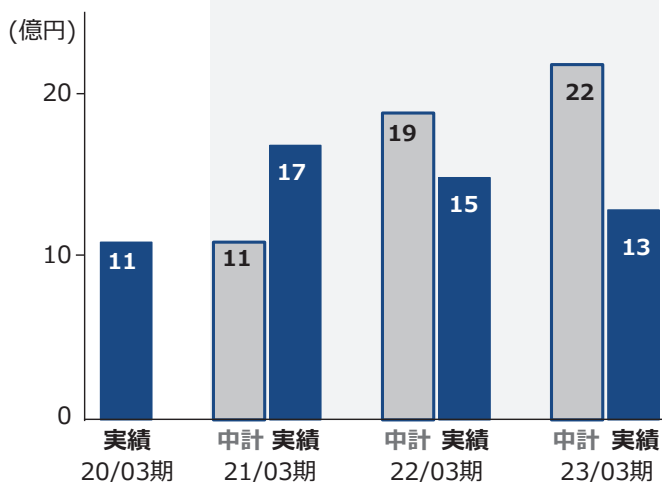
「中期経営計画2022」



- COVID検査試薬が大幅に伸長
- 一般研究用試薬は中計目標をクリアし、年率7%成長を達成

機器

「中期経営計画2022」



- PCR装置はCOVID需要を取り込めたが、細胞解析装置が伸び悩み、機器全体では中計目標は未達

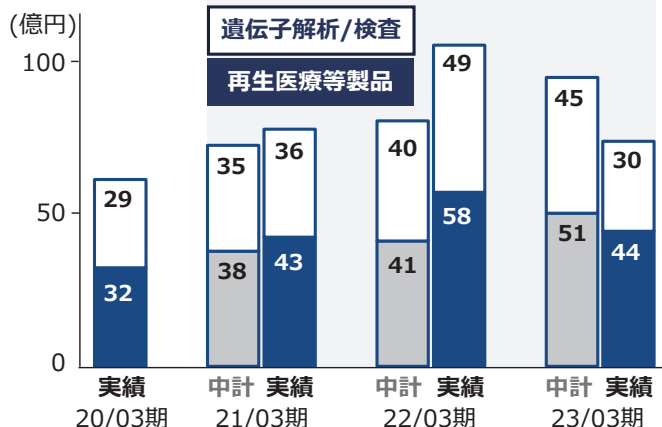
10

TaKaRa

CDMOは、COVID関連プロジェクトの縮小が影響 遺伝子医療は、RetroNectin®が好調

CDMO

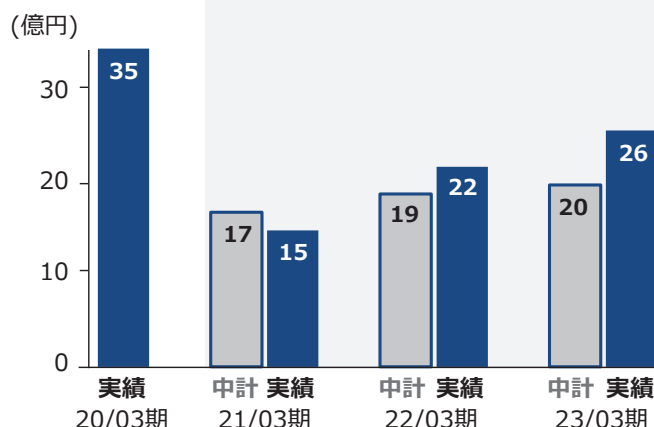
「中期経営計画2022」



- 22/03期に売上高100億円を超えたが、23/03期はCOVID関連受託や国主導のゲノム解析プロジェクト外の縮小により減収
- 23/03期は中計目標であった売上高96億円に未達

遺伝子医療

「中期経営計画2022」



- 製薬企業との遺伝子治療提携プロジェクト外が解消
- 当社単独でのTBI-1301製造販売承認申請を目指す
- RetroNectin®が好調に推移

11

TaKaRa

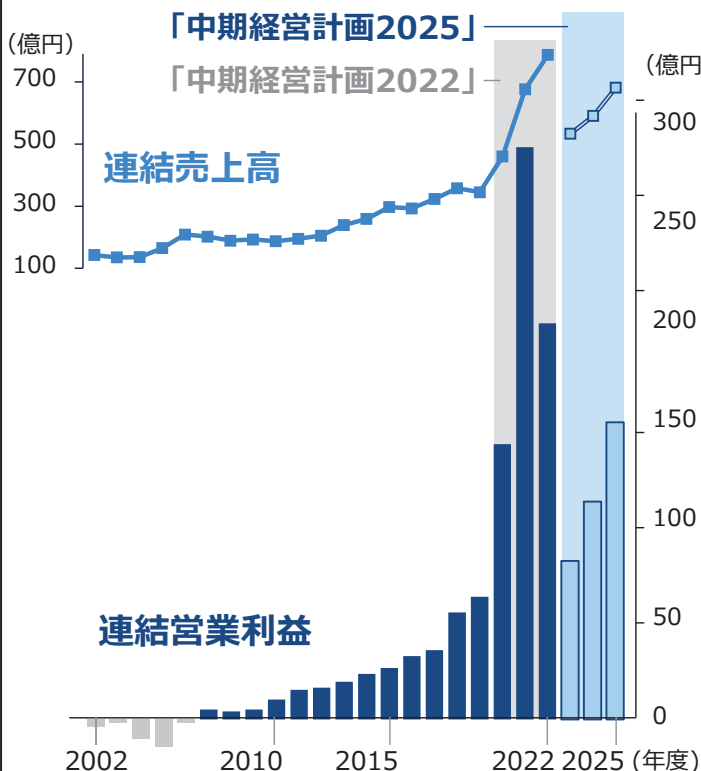
本日の内容

- 2023年3月期 通期連結業績
- 2024年3月期 通期連結業績 予想
- 「中期経営計画2022」の振り返り
- 「中期経営計画2025」の概要

12

TaKaRa

タカラバイオグループの業績推移と「中期経営計画2025」



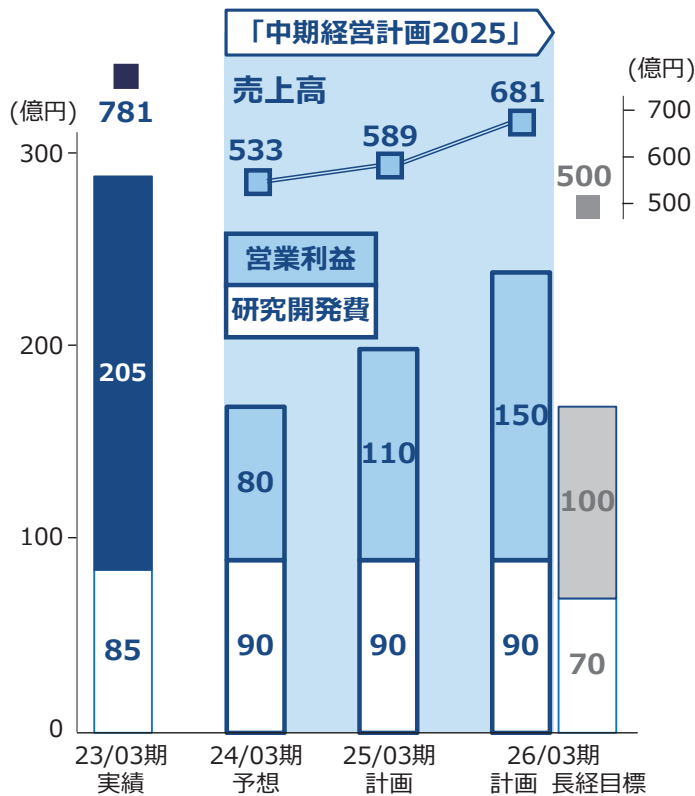
- COVID関連需要への対応に集中的にリソースを充てた体制を“リセット”した上で、事業構造の改革を進め、試薬/機器およびCDMO事業のさらなる収益拡大を図りながら新たな成長ステージへ踏み出す、いわば“第二の創業期”と位置付けたい
- 「中期経営計画2022」期間中の積極的な研究開発投資・設備投資・人的投資により築いた収益基盤をフルに活用する

13

TaKaRa

「長期経営構想2025」の定量目標を前倒し 飛躍的成長を目指す

- 試薬/機器事業およびCDMO事業の収益拡大により、アフターコロナの業績の崖“コロナクリフ”からの脱却と飛躍的成長を目指す



2026年3月期 定量目標	
連結営業利益	150億円
ROE	8%以上

2026年3月期 KPI*	
連結売上高	681億円
研究開発費	90億円

14

*Key Performance Indicator (定量目標達成のためのプロセス指標)



事業成長戦略：ライフサイエンス産業のインフラを担う グローバルプラットフォーマーを目指す

新たな市場・顧客への
独自技術の
提供

健康・医療関連 産業支援

疾病の予防・診断
研究開発

細胞医療・遺伝子治療
新薬/デバイスの開発・製造

試薬/機器 または CDMO として
技術価値を最大化できるビジネスモデルで事業化

超微量の
遺伝子/細胞を
解析する技術

高機能・高品質な
遺伝子/細胞/タンパク質を
大量に製造する技術

ライフサイエンス 研究支援

研究用試薬/機器

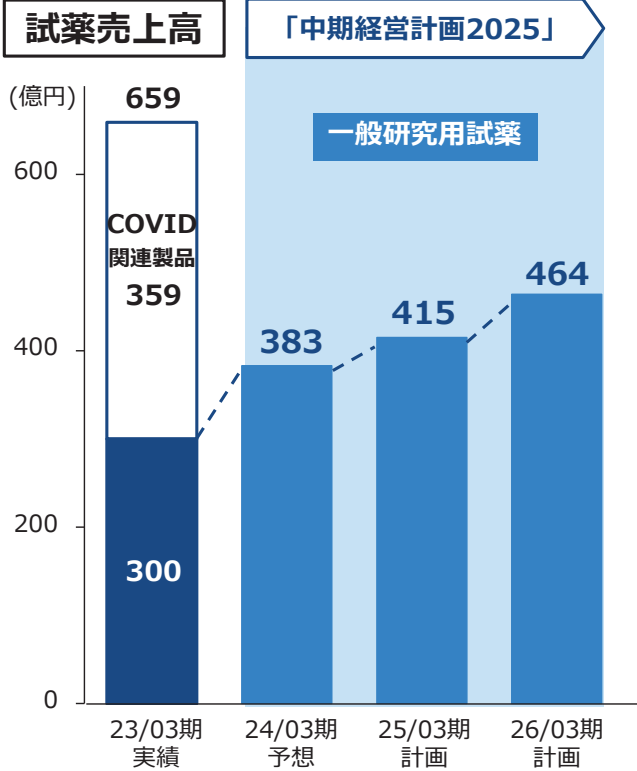
研究受託サービス

コアコンピタンス
(遺伝子工学・細胞工学)
に基づく独自技術の高度化

15



試薬事業：日・米・中における研究開発体制を最適化 シナジー効果を最大化し新製品開発を加速



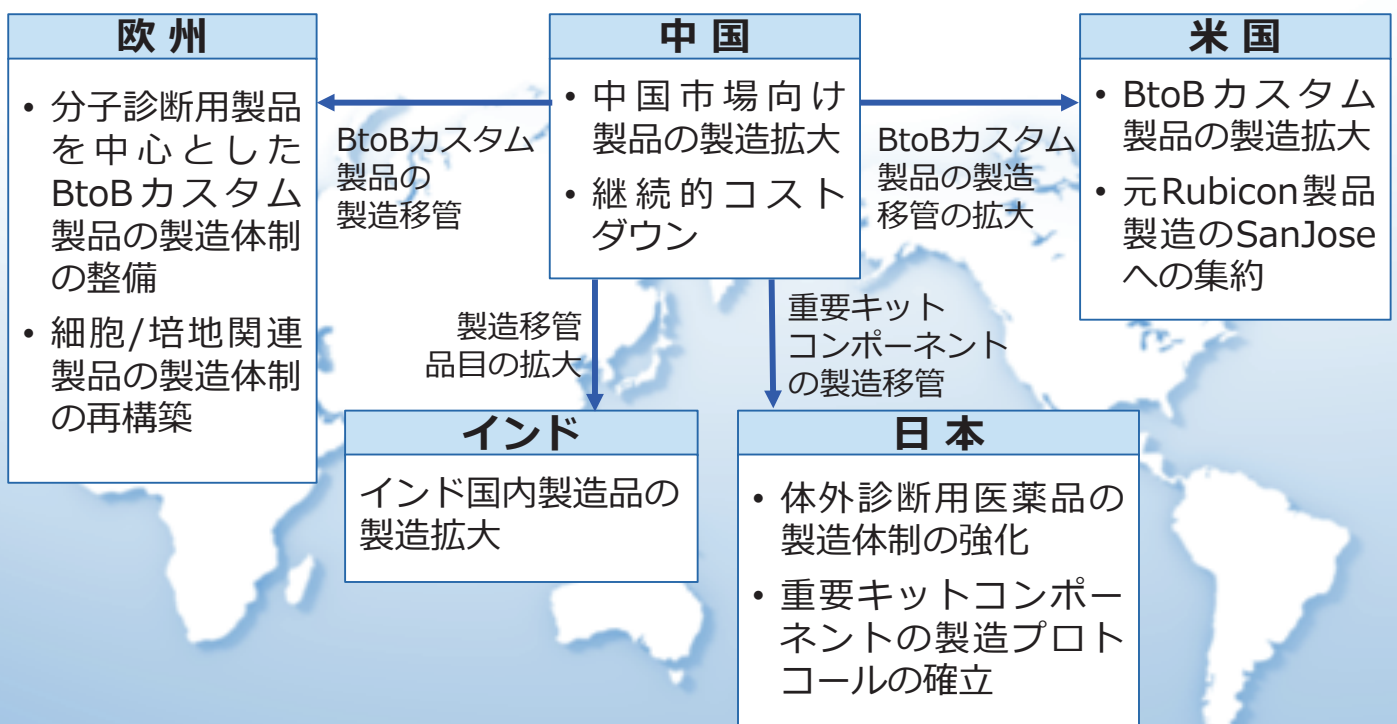
- BtoBカスタム製品の売上拡大など地域特性に応じたグローバルなマーケティング/販売戦略を構築し、年率7%成長を目指す
- **日本**： RNA, NGS関連製品、アプリケーション分野や臨床応用分野における新製品の開発を強化
- **米国**： CLIA*ラボ設置による臨床応用分野製品の開発を強化
- **中国**： 現地需要に応じた品質グレード製品の積極的投入
- **欧州**： CE-IVD製品**の販売体制の構築

16

* 米国政府が定める、ヒト検体を取り扱う臨床検査ラボの品質保証基準
**体外診断用医薬品/医療機器をEU加盟国で販売するための規格



試薬事業：効率性向上とリスク低減のバランスを踏まえ グローバルな製造体制を構築



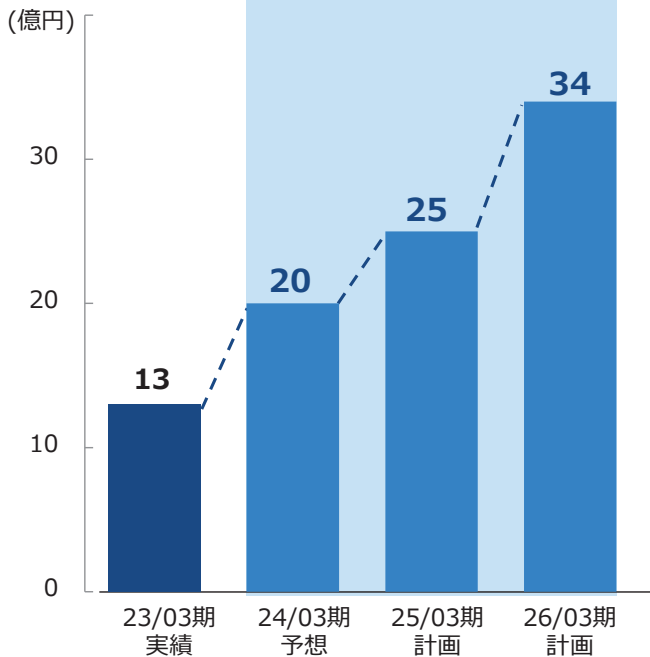
17



機器事業：専用試薬の開発によるシステム化 遺伝子増幅装置と細胞解析装置の新機種開発を加速

機器売上高

「中期経営計画2025」



- シングルセル細胞解析装置 (ICELL8[®]シリーズ)の新機種開発の加速
- 検査市場向け qPCR 装置 (SmartChip[®]シリーズ)の新機種開発とパネル試薬の開発によるシステム化
- ヒト感染症検査用 qPCR 医療機器と専用試薬の開発
- オンサイト検査用シングルユース遺伝子増幅デバイスの開発

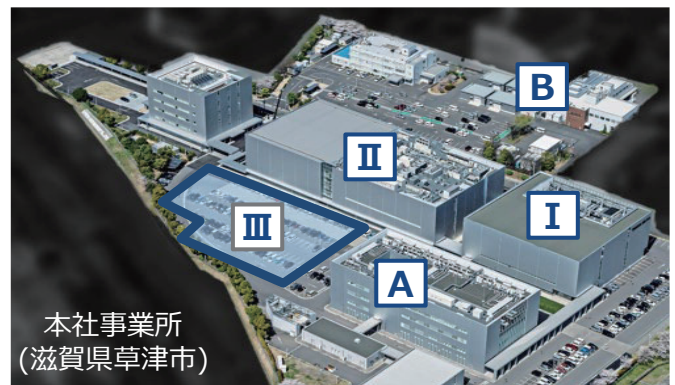
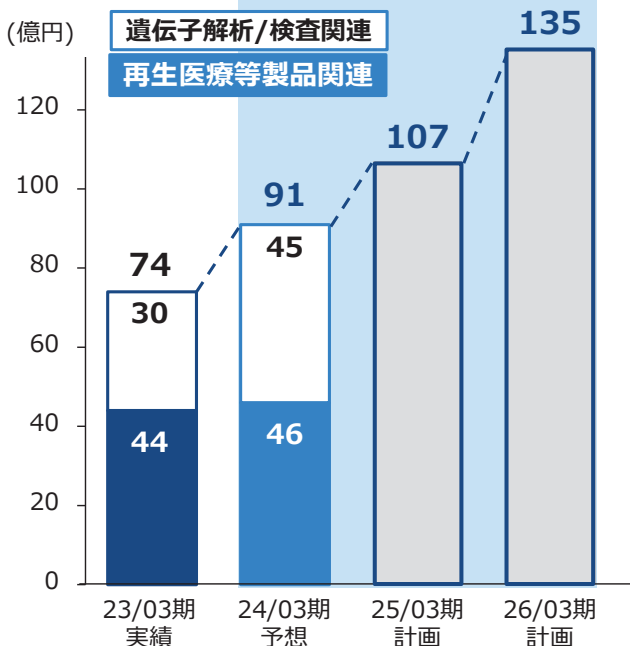
18

TaKaRa

CDMO事業：国内最大級の製造/解析施設を完備 生産性向上・品質堅牢化・製造人材育成を推進

CDMO売上高

「中期経営計画2025」



I 遺伝子・細胞[°]測assingセンター(CGCP)
(2014年稼働 約6,700 m²)

II CGCP 2号棟
(2020年稼働 約14,500 m²)

III CGCP 3号棟
(2027年竣工予定 約16,400 m²)

A 遺伝子解析センター

B 技術研修センター

19

TaKaRa

再生医療等製品関連受託：小規模試験製造から臨床用大規模製造まで開発ステージに合わせた対応が可能

製造品目/ メニュー	主要設備	
	CGCP	CGCP 2号棟
プラスミドDNA タンパク質	シングルユース培養槽 200L×3	微生物培養槽 (90L & 2,000L)×2
ウイルスベクター/ mRNA	(接着培養 40L & 11L)×2 浮遊培養 25L×2	接着培養 500m ² ×1 浮遊培養 200L×1 浮遊培養 3,000L×1 【2023年稼働予定】
細胞製剤	計11室	計3室 【2023年稼働予定】
品質試験	-	約1,900m ² 専用フロア
無菌充填	自動充填装置 (3,000バレル/日)	自動充填装置 (20,000バレル/日)

CGCP 2号棟に
新規実装された装置



ウイルスベクター製造用
3,000L培養システム



無菌細胞加工用AITO

- ベクター：ウイルスベクターの大量製造体制を構築、多様なウイルス種・スケールでの製造に対応
- 細胞加工：AITOや自動培養装置による高効率製造・多品目並行製造体制を構築
- 品質試験：多岐にわたる品質試験・特性解析試験を提供、試験法開発にも対応

20



遺伝子解析/検査関連受託：超微量核酸解析技術を応用した独自の受託解析サービスを提供

次世代シーケンス(NGS)解析の工程

検体の前処理

シーケンス(NGS)

情報解析

- 超微量核酸調製プラットフォーム
- SMART-Seq[®](RNA)
- ThruPLEX[®], PicoPLEX[®](DNA)
- シングルセル検体調製プラットフォーム
- ICELL8[®]シリーズ



- 国内最大級の解析キャパシティ
- 各種NGSシステムを網羅的に配備
- CAP* 認定ラボによる信頼性保証体制

臨床応用向け受託解析メニューを拡充

- リキッドバイオプシーなどの超微量核酸解析/検査
- 生殖医療関連検査(RHT: Reproductive Health Testing)
- 先端的マルチオミックス解析による創薬支援サービス
- 疾患バイオマーカー探索/検査
- 臨床試験/治験を支援する信頼性保証サービス

21

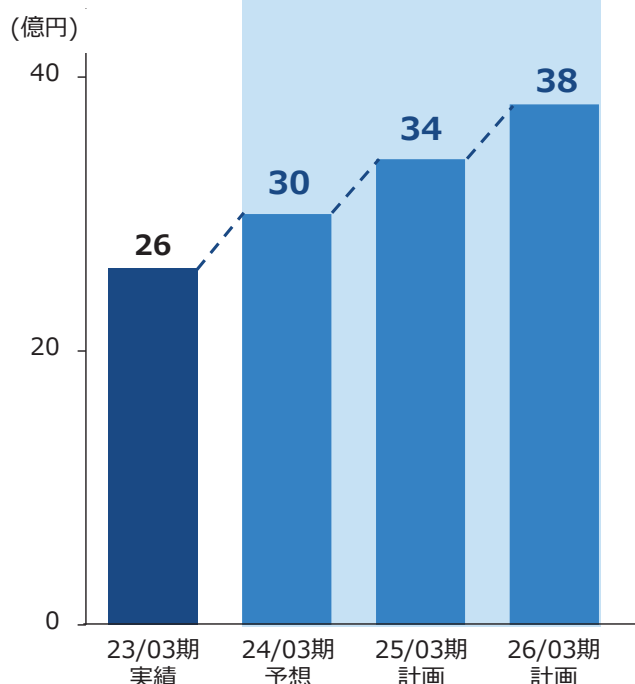
*College of American Pathologists (米国病理医協会)



遺伝子医療事業：創薬基盤技術の強化 CDMO事業へも応用可能なAM製品ビジネスの拡大

遺伝子医療売上高

「中期経営計画2025」



● AM製品：

- RetroNectin®の製造能力の増強
- mRNA合成用酵素などの再生・細胞医療・遺伝子治療薬製造用AM製品の開発

● 創薬基盤技術：

JAK/STATテクノロジー、CereAAV™テクノロジーの臨床応用データの取得とCDMO受託事業への応用展開

● TBI-1301(NY-ESO-1・siTCR®)：

日本における製造販売承認申請の推進と、製造・質保証・物流などの上市後の供給体制の構築

22

TaKaRa

研究開発：独自の超微量核酸解析技術と モダリティとしての遺伝子/細胞の製造技術を拡充

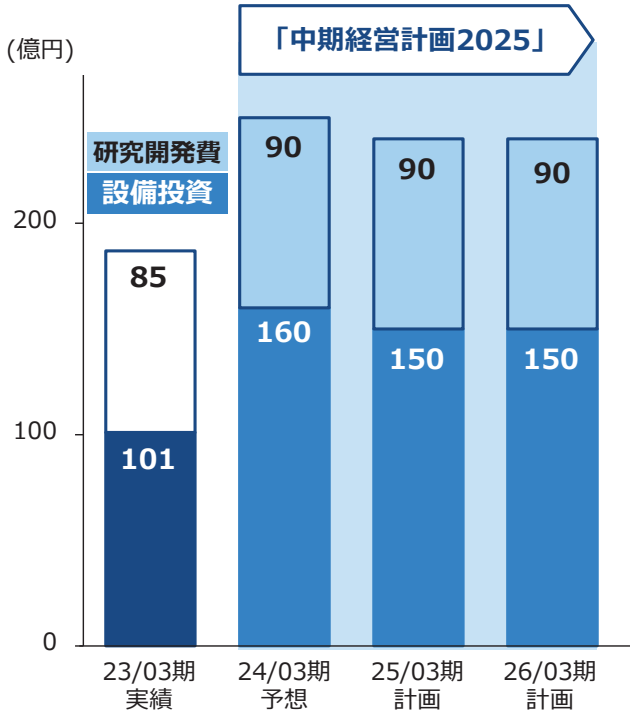
価値提供分野	健康・医療関連 産業支援	
	疾病の予防・診断 研究開発	細胞医療・遺伝子治療 新モダリティの開発・製造
主要 開発技術 /ソリューション	超微量の 遺伝子/細胞を 解析する技術	高機能・高品質な 遺伝子/細胞/タンパク質を 大量に製造する技術
	<ul style="list-style-type: none"> ● 体外診断用医薬品 ● ヒト/動物用病原体検査 ● オンサイト検査用遺伝子増幅デバイス ● 生殖医療関連検査(RHT) ● NGS関連技術開発と臨床応用 ● 疾患バイオマーカー探索 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウイルスベクターの大規模製造 ● 遺伝子導入細胞の高効率培養 ● Ancillary Materialsの開発 ● mRNAモダリティ製造関連技術 ● siTCR® テクノロジー ● JAK/STAT テクノロジー ● CereAAV™ テクノロジー ● TBI-1301(NY-ESO-1・siTCR®)

23

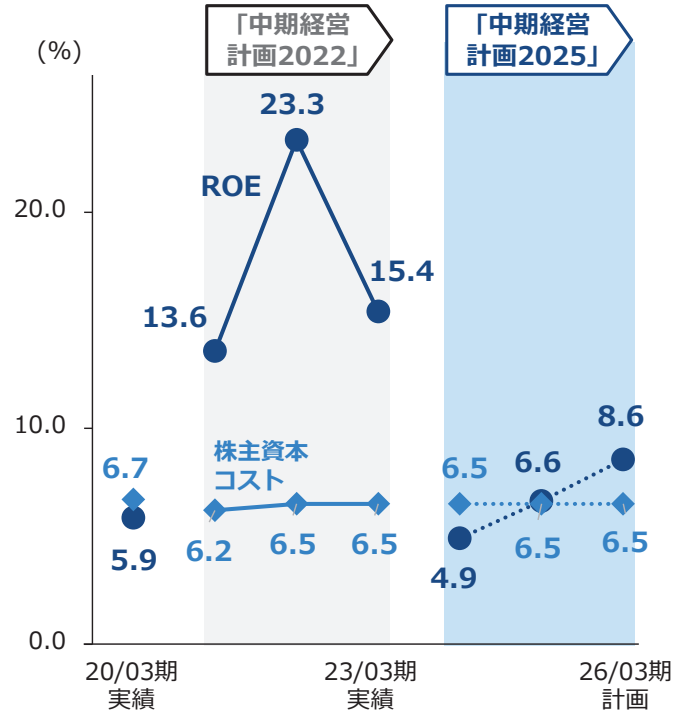
TaKaRa

財務健全性と積極的・継続的な成長投資を両立 ROEと株主資本コストを意識した経営を推進

設備投資・研究開発費



ROE/株主資本コスト

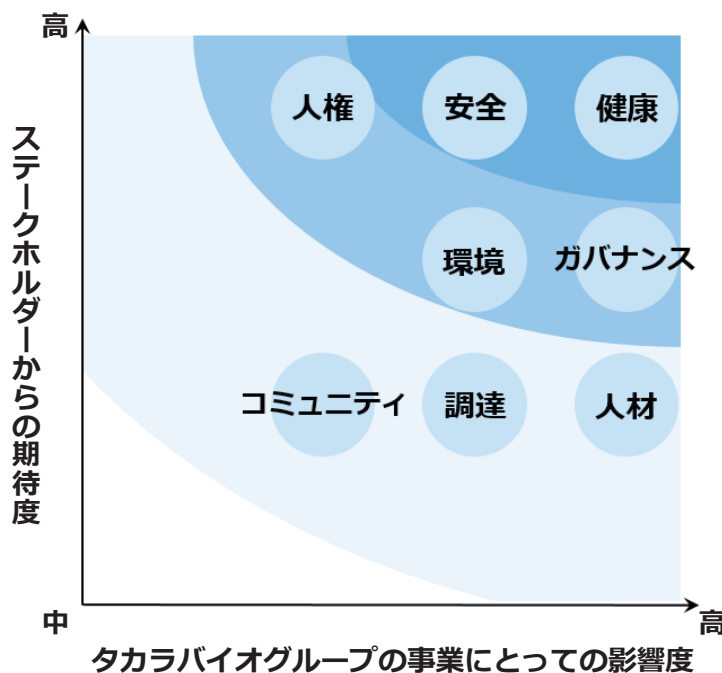


24



サステナビリティ活動：持続可能な社会の実現と 当社グループの持続的な成長の両立を目指す

マテリアリティ



重点取り組み

CO2排出削減の推進

- 事業活動の拡大、設備投資等によるCO2排出増が予想されるが、再生可能エネルギーの利用や省エネ活動を推進する
- 売上高当たりのCO2排出量(原単位)を2019年3月期(基準年)から50%削減する(2026年3月期目標)

TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)

開示レベルの充実を図る

人権デューデリジェンスの推進

グループ内およびバリューチェーン上の人権リスクの特定・評価を通じ人権リスクの低減を図る

25

参考：タカラバイオのサステナビリティ活動 <https://ir.takara-bio.co.jp/ja/sustainability.html>



将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：広報・IR部

E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

26

 Takara

【参考資料】

参考資料（23/03期業績、24/03期予想）

- ・ 23/03期 連結業績（通期）
- ・ 24/03期 連結業績（通期予想）
- ・ 23/03期 カテゴリー別売上高（通期）
- ・ 24/03期 カテゴリー別売上高（通期予想）
- ・ 23/03期 試薬所在地別売上高（通期）
- ・ 24/03期 試薬所在地別売上高（通期予想）
- ・ 会社別業績（23/03期通期、24/03期通期予想）
- ・ 為替レート（実績・予想）

27

 Takara

23/03期 連結業績（通期）

（百万円）

	23/03期 通期	前期比		2/9予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	78,142	+10,422	+15.4%	▲557	▲0.7%
売上原価	33,377	+14,888	+80.5%	▲265	▲0.8%
売上総利益	44,765	▲4,445	▲9.0%	▲291	▲0.6%
販売費及び 一般管理費	24,224	+3,914	+19.3%	▲832	▲3.3%
営業利益	20,541	▲8,360	▲28.9%	+541	+2.7%
経常利益	20,682	▲7,777	▲27.3%	+582	+2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,012	▲3,837	▲19.3%	+1,512	+10.4%

24/03期 連結業績（通期予想）

（百万円）

	24/03期 通期予想	前期比	
		増減	増減率
売上高	53,300	▲24,842	▲31.8%
売上原価	19,315	▲14,061	▲42.1%
売上総利益	33,984	▲10,780	▲24.1%
販売費及び 一般管理費	25,984	+1,760	+7.3%
営業利益	8,000	▲12,541	▲61.1%
経常利益	8,200	▲12,482	▲60.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,500	▲10,512	▲65.7%

23/03期 カテゴリー別売上高（通期）

（百万円）

	23/03期 通期	前期比		2/9予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
試薬	65,925	+13,446	+25.6%	▲349	▲0.5%
COVID	35,901	+10,262	+40.0%	▲188	▲0.5%
一般研究用	30,024	+3,183	+11.9%	▲161	▲0.5%
機器	1,375	▲142	▲9.4%	▲174	▲11.3%
受託	8,200	▲3,226	▲28.2%	▲42	▲0.5%
再生医療等製	4,469	▲1,394	▲23.8%	▲21	▲0.5%
遺伝子解析/査	3,089	▲1,843	▲37.4%	▲21	▲0.7%
その他	643	+10	+1.7%	+0	+0.0%
遺伝子医療	2,640	+365	+16.1%	+8	+0.3%
売上高合計	78,142	+10,442	+15.4%	▲557	▲0.7%

24/03期 カテゴリー別売上高（通期予想）

（百万円）

	24/03期 通期予想	前期比	
		増減	増減率
試薬	38,353	▲27,571	▲41.8%
機器	2,019	+643	+46.8%
受託	9,914	+1,713	+20.9%
再生医療等製品	4,646	+178	+4.0%
遺伝子解析/検査	4,499	+1,410	+45.6%
その他	675	+32	+4.9%
遺伝子医療	3,012	+372	+14.1%
売上高合計	53,300	▲24,842	▲31.8%

23/03期 試薬所在地別売上高（通期）

（百万円）

	23/03期 通期	前期比		
		増減	うち為替	増減率 (為替影響除く)
日本	37,101	+15,584	0	+72.4%
米国	12,617	+2,512	+2,083	+4.2%
中国	9,928	▲1,142	+1,252	▲21.6%
欧州	4,051	▲3,633	+241	▲50.4%
韓国	1,227	+116	+69	+4.2%
印度	1,000	▲9	+107	▲9.9%
合計	65,925	+13,446	+3,755	+18.5%

24/03期 試薬所在地別売上高（通期予想）

（百万円）

	24/03期 通期	前期比		
		増減	うち為替	増減率 (為替影響除く)
米国	13,867	+1,250	+828	+3.3%
中国	9,555	▲372	0	▲3.8%
日本	8,587	▲28,513	0	▲76.9%
欧州	4,391	+340	+83	+6.3%
韓国	1,294	+66	▲10	+6.3%
印度	657	▲343	+11	▲35.5%
合計	38,353	▲27,571	+912	▲43.2%

会社別業績（23/03期通期、24/03期通期予想）

(百万円)

	23/03期 通期		24/03期 通期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
タカラバイオ（単体）	57,280	14,553	33,151	3,201
タカラバイオヨーロッパ（連結）	4,854	183	5,649	90
宝生物工程(大連)	5,406	1,415	5,000	1,183
宝日医生物技術（北京）	10,797	1,643	10,517	1,260
タカラコリア	1,451	234	1,462	243
タカラバイオDSSインド	1,022	79	681	63
タカラバイオUSA	17,462	2,971	19,640	2,634

34



為替レート（実績・予想）

(単位：円)	23/03期 通期	24/03期 通期
	実績	予想
米ドル	131.64	140.00
ユーロ	138.15	141.00
人民元	19.50	19.50
100ウォン	10.18	10.10
インドルピー	1.67	1.70
スウェーデンクローナ	12.99	13.00
ポンド	162.02	162.00

35

